



チェロ  
マレック・シュパキエヴィッチ  
Marek Szpakiewicz, Cello

ピアノ  
ジアイ・シー  
Jiayi Shi, Piano

チェロ・リサイタル Marek Szpakiewicz Cello Recital with Jiayi Shi

# マレック・シュパキエヴィッチ

スラヴの誇りと哀愁のチェロ —  
ヨーヨー・マから賞賛される  
稀代のソリストが再来日

ショパン  
序奏と華麗なポロネーズ Op.3  
Chopin  
Introduction et polonaise brillante, Op.3

シューマン  
幻想小曲集 Op.73  
Schumann  
Fantasiestücke, Op.73

バーバー  
チェロ・ソナタ ハ短調 Op.6  
Barber  
Sonata for Cello and Piano in C minor, Op.6

ラフマニノフ  
チェロ・ソナタ ト短調 Op.19  
Rachmaninoff  
Sonata for Cello and Piano in G minor, Op.19

ガーシュウィン (シュパキエヴィッチ編)  
3つの前奏曲  
Gershwin (Arr.by Szpakiewicz)  
Three Preludes

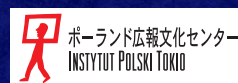
2016年  
10/29 [土] 16:00開演 (15:30開場)  
トッパンホール

全席指定 ¥4,500 (消費税込)

トッパンホールチケットセンター  
03-5840-2222 (営業時間10:00~18:00日祝休)

チケットぴあ  
0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>  
[Pコード: 301-439]

後援: 駐日ポーランド共和国大使館



制作・お問合せ: 株式会社1002 [イチマルマルニ]  
03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

※都合により、出演者・プログラム・曲順などが変更される場合がございます。  
※未就学児の同伴・ご入場はご遠慮ください。



# Marek Szpakiewicz Cello Recital with Jiayi Shi



-2015.3.27王子ホールにて- © Michiharu Okubo

自身の中に深い音楽世界を内包している稀有な音楽家

【サラサーテVol.64】

一つひとつの音を精魂込めて追求しながら

丹念に情景を描いていく独自の解釈は、芸術的高みへと収斂  
生命体としての音楽を自らのメッセージとともに  
纏め上げていく濃密な表徴は印象的

【音楽の友2015年6月号】

技術と感性と知性が均衡した演奏

【音楽現代2015年6月号】

## マレック・シュパキエヴィッチ (チェロ) Marek Szpakiewicz, Cello

ポーランド生まれロサンゼルス在住のチェロ奏者マレック・シュパキエヴィッチは、ヨーヨー・マ氏から「エネルギー、モチベーション、真摯さ、そして寛容な心を持っていることが自明なアーティスト」と評され、ピューリッツァー賞を受賞した作曲家ジョン・コリアーノ氏から「シュパキエヴィッチ氏が演奏した私の作品『Fancy on a Bach Air』は、素晴らしく華麗である」と、高い評価を得ている。ポーランドのルブリン市にて6歳からチェロを始める。渡米しジョンズ・ホプキンス大学ピーボディー音楽院でステイーヴン・ケイツ氏に師事。その後南カリフォルニア大学ソロートン音楽学校でエレンア・ショーンフェルド女史に学び、音楽修士号と音楽芸術博士号を取得。数々の国際コンクールで優勝・入賞し、ヨーロッパ各国とアメリカでソリストとして活躍。「天賦の才能ある演奏家」、「壮大なビジョンと計り知れない説得力を持つ」、「際限のない技術性」などと賞賛された。これまでアン・アキコ・マイヤース、岩崎洗など

の名高い音楽家と共演している。オーケストラ編曲の分野でも活躍し、映画音楽作曲家ヤン・A・Pカチュメレク氏の作品に携わる。共同で手掛けた映画音楽『ネバーランド』は2005年第77回アカデミー作曲賞を受賞。同氏の映画音楽では、リチャード・ギア主演『HACHI-約束の犬』(09年夏公開)や松井久子監督の『レオニー』(10年秋公開)などで、印象的なソロを聴かせた。08年アメリカ政府から「特殊で卓越能力をもつアーティスト」として永住権を授与された。アメリカ国内はもとより国際的称賛が継続し、これまでの業績が認められたためである。11年には東日本大震災チャリティーコンサートを企画し、ロサンゼルス郡参事よりその献身的活動に対して表彰を受けた。12年の創設時から福島県相馬市のエル・システムジャパンをコンサートや文化交流を通じて支援している。現在、カリフォルニアのアズサ・パシフィック大学音楽学部で教鞭をとり、室内楽のディレクターを務める。使用楽器は1870年製ヴィオーム。



## ジアイ・シー (ピアノ) Jiayi Shi, Piano

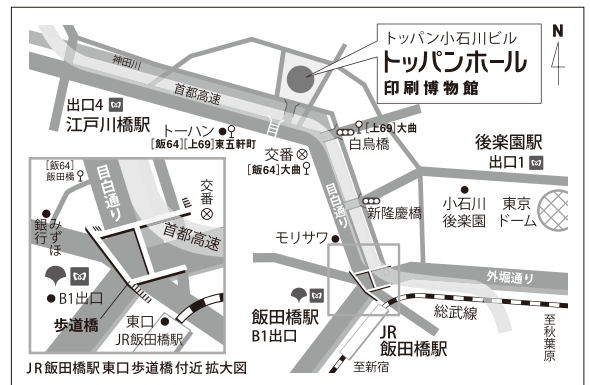
上海出身。上海音楽院の予備学校を経て渡米。イーストマン音楽学校で音楽修士号及びピアノソロの演奏家資格を取得、さらにマンハッタン音楽学校の音楽芸術博士号を取得。現在、室内楽奏者、器楽伴奏者として活躍している。モーストリー・モーツァルト音楽祭にて、ヴァイオリニストの五嶋みどり氏と共演しニューヨーク・デビューを果たす。以来世界的に著名なホールで室内楽演奏会に出演。また、ロサンゼルス交響楽団のコンサートマスターのマーティン・チャリフォーヤソリストの五嶋龍各氏と定期的に共演している。最近では、ワシントンDCでケネディー・センターでのリサイタル、KBS (韓国) テレビ番組『Classic Odyssey』にて五嶋みどり氏と共演、ミュンヘン、名古屋でのリサイタルツアー、トロントでのラジオ出演など多岐にわたった活動に才能を発揮し、情熱を注いでいる。これまで南カリフォルニアのバイオラ大学及びラ・シエラ大学の教師を務めるほか、クラシック音楽を広めるための財団『Partners in Performances』の関連マスタークラスで教えるなど、後進の指導にも精力的にあたっている。

## 本公演の収益金の一部をエル・システムジャパンへ寄付します



### 福島から始まった エル・システムジャパンの取り組み

家庭の事情にかかわらず、希望する子どもも楽器の演奏や歌うこと、グループで学ぶということは、芸術を通して自己を表現し、仲間と一緒に創造の喜びを知ることです。1人1人の子どもが誇りと自信を持っていくことで親が変わり、その周りの人々も変わって、社会変革に繋がります。このエル・システムの教育理念の実現こそが、東日本大震災によって厳しい状況にさらされ、特に原発事故による影響を心身ともに受けた福島の子どもの尊厳を回復し、夢と希望を与えられるのではないかという思いから、エル・システムジャパンは、2012年3月に設立されました。現在、福島県相馬市、岩手県大槌町で約200名の子どもたちを対象にオーケストラや合唱等の活動を展開しています。「音を奏でハーモニーを生み出しながら美を創造しようとするすべての人が、『本質的なハーモニーとは、人間同士のハーモニーだ』ということを理解し始める。」徐々に、ベネズエラのアブレウ博士の言葉の意味を子どもたちは体験をもって理解し始めています。そして、多くの方々に支えられながら音楽を通じ困難を乗り越える力と勇気を養い、少しずつしかし着実に前進しています。



### 交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分  
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分  
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分  
都営バス [上69] [飯64] 「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分  
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

### トップパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515  
E-mail:info@toppanhall.com http://www.toppanhall.com/